

平成28年度 神奈川県立みどり養護学校 不祥事ゼロプログラム実施状況

○ 項目・目標別実施結果

項 目	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	勤務時間内外を問わず、教育公務員としての立場を自覚し、非違行為を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・公務外非行の新聞発表があった際に職員への周知と注意喚起を行った。 ・8月29日に外部講師による不祥事防止研修会を持った。 ・初任研・転任者研において取り上げ徹底を図った。 <p>○おおむね達成できた。</p>
わいせつ・セクハラ行為の防止	児童生徒の人権を尊重し、年齢や性別に配慮した児童・支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の同僚性を高め、お互いに注意し合える環境設定をした。 ・日常的な声かけを行い、未然防止に努めた。 ・9月に学部・学年会等で討議を行った。 <p>○おおむね達成できた。</p>
体罰・不適切な指導の防止	児童生徒の障害特性を理解し、実態に合った適切な指導・支援を行い、紛らわしい行為を含め体罰や不適切な指導を根絶する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「さん付け呼称」を徹底し、その後の行動を変容させることができた。 ・各学部・学年で、「体罰防止ガイドライン」の読み合わせを行い、厳しい指導と体罰の違いに浮いて理解した。 ・8月25日に、関連したテーマの人権研修を持ち、人権意識を磨いた。 ・10月に学部・学年会等で討議を行った。 <p>○ほぼ達成できた。</p>
成績処理及び進路関係書類の作成および取り扱いに係る事故防止	個別教育計画や進路関係書類の作成、取り扱いについて適切に行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・担任間で読み合わせを行い、不適切な内容や表記がないかチェックを行った。 ・電子データや紙ベースの資料について、適切に管理をすることができた。 ・作成文書の誤配付を防止するため、必ずダブルチェックを行った。 ・配付日の直前に、誤配付防止の注意喚起を行った。 <p>○何ケースかのヒヤリハットや事故が発生した。完全に達成できなかったので次年度は重点的に取り組む必要がある。</p>
個人情報の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の管理に細心の注意を払い、情報の流出を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・貸し出し簿への記入と、管理職による承認を徹底して行った。 ・定期的な棚卸しを実施した。 ・校外持ち出しのUSB等については、翌日返却を原則とした。 ・作成した文書については、対策重要度別に適切に保存した。 ・作成文書の誤配付を防止するために、必ずダブルチェックを実施した。 ・7月15日に情報管理についての研修会を実施した。 <p>○おおむね達成できたが、改善が必要である。</p>

<p>交通事故防止、酒酔い、酒気帯び運転防止、交通法規の遵守</p>	<p>交通法規を遵守し、勤務時間内外の交通事故を防止する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安全運転を心がけるよう、注意喚起を行った。 ・飲酒、酒気帯び運転を絶対にしない、させない職場環境の整備に努めた。 ・万が一事故を起こしてしまった場合は、速やかに管理職に報告することを徹底した。 ・8月29日に外部講師による不祥事防止研修会を持った。 ・10月に学部・学年会等で討議した。 <p>○おおむね達成できた。</p>
<p>業務執行体制の確保等</p>	<p>情報共有、相互チェック体制、業務協力体制を構築する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・業務執行上必要な情報共有を確実にを行った。 ・相互チェック体制を強化し、事故を未然に防いだ。 ・特に、連絡帳や保健関係文書については、慎重にダブルチェックを行い誤配付防止に努めた。 ・12月に学部・学年等会で討議した。 <p>○残念ながら、不祥事ゼロは達成できなかったが、ヒヤリハットを含めてその都度検証し、改善策を策定・実行した。</p>
<p>会計事務等の適正執行</p>	<p>適正な会計処理を行い、事故を未然に防ぐ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総務チームが中心となって、適正な学校徴収金の徴収、管理、執行を行うことができた。 ・計画的な執行を行うよう、グループリーダーより、適時適切なアナウンスを行った。 ・学期に一度、会計担当者会を持ち、私費会計手順を確認した。 <p>○達成できた。</p>

○ 平成28年度不祥事ゼロプログラムの達成状況と平成29年度に取り組むべき課題

1 達成状況

- ・学校全体の評価としては、80%程度の達成率であった。
- ・各学部・学年等での討議を2学期に4回実施し、1、2月の事故防止会議で、討議結果の報告の報告をし合い共有した。
- ・朝の職員打ち合わせや職員会議の場で、不祥事防止に向けた注意喚起のアナウンスをタイムリーに行うことができた。
- ・週初めに、1週間の不祥事防止関連の標語を教頭より発表し、注意喚起に努めた。

2 平成29年度に取り組むべき課題

- ・「さん付け呼称」を徹底し、体罰や不適切な指導を未然に防ぐ。
- ・アンガーマネジメントを、個々の教員がそれぞれの方法で実施できるようにする。また、そのための研修会を持つ。
- ・誤配付、誤廃棄等が起きないように、誰にでも分かりやすく、実行可能な未然防止システムを構築する。
- ・個人情報の管理については、引き続き細心の注意を払い、情報の流出を防止する。USB等の貸し出し・承認の手順や様式を見直し、棚卸しも厳重に行う。
- ・引き続き、交通事故ゼロを目指す。

○職員間の同僚性を高め、お互いに注意し合える職場環境を整える。